関する契約に関連する交換公文◎日本国とフィリピン共和国との間の日本国産米の売買に

(略称)フィリピンとの日本国産米の売買契約に関連する取極

日本側書簡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日						フ		
(関書簡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本	(3)	(2)	(1)	同	国	1		
着簡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	側書	椒	н-	却	癸幼	7	り		
説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	簡	נעט	注産	約	だり	坐	ン	Ħ	
W和四十六年十一月 十 日 東京で W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和回十六日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十日 W和	:	議	及	実	関	売	側	-	
(2) 京都事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	C	施	+	買	書		
Wand 中一月 十 日 東京で Wand 中六年十一月 十 日 東京で Wand 中六年十一月 十 日 東京で	:	:	国	の	る	契	TIN	次	
	:	:	除通	ため		がの	:		
W和四十六年十一月 十 日 東京で W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和四十六年十一月 W和回十六年 W和四十六年 W和回十六年 W和回十六日 W和回十十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十十日 W和回十日 W	:	:	番	o O	事	概	÷		
Before 昭和四十六年十一月 十 日 東京で WAD 第本 WAD 第本 WAD 1 東京で	:	:	貿	措	項	要	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で を守るための措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	易	置	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で いるための措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	を 二	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で でめの措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	る	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で W和四十六年十一月 十 日 東京で	:	:	た	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で の措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	め	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で 昭和四十六年十一月 十 日 東京で	:	:	か	:	:	:	•		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で 昭和四十六年十一月 十 日 東京で	:	:	置	:	:	:			
昭和四十六年十一月 十 日 東京で 昭和四十六年十一月 十 日 東京で	:	:	:	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で 昭和四十六年十一月 十 日 東京で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・三五九 ・・・・・・・・・・・・	:	:	:	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で 昭和四十六年十一月 十 日 東京で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・三五九 ・・・・・・・・・・・・	:	:	:	:	:	•	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で 昭和四十六年十一月 十 日 東京で	:	:	:	:	:	:	÷		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で昭和四十六年十一月 十 日 東京でいる。	:	:	:	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で昭和四十六年十一月 十 日 東京でいる。	:	:	:	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で昭和四十六年十一月 十 日 東京でいる。	•	•	•	:	:	:	:		
昭和四十六年十一月 十 日 東京で昭和四十六年十一月 十 日 効力発: 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	:	÷	:	:	:	:	:		
和四十六年十一月 十 日 東京で和四十六年十一月 十 日 東京でいる。	:	:	:	:	:	:	:		昭昭
四十六年十一月 十 日 東京で 四十六年十一月 十 日 効力発: 	:	:	:	:	:	:	:		和和
- 六年十一月 十 日 東京で - 六年十一月 十 日 効力発: - 二五七 - 二五七 - 二五九 - 二五九 - 二五九	•	•	•	•	:	:	•		+ +
年十一月 十 日 東京で 年十一月 十 日 効力発: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	:		:	:	:		놋 놋
十一月 十 日 東京で 十一月 十 日 効力発: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	:	:	:	:	:		年 年
月 十 日 東京で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	:	:	:	÷	:		
十日東京で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	:	:	:	:	:		月月
十 日 東京で 十 日 効力発: ページ ページ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	:	:	:	:	:		
日 東京で 日 東京で 日 効力発: ・・・・・三五 七 ・・・・・三五 九 ・・・・・三五 八	:	:	:	:	:	:	:		+ +
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:	:	:	:	:	:	:	î	8 B
三 三 三 三 三 三	:	:	:	:	:	:	:	ジ	
六 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	三		効 東
	六〇	九	<u> </u>	九	九	五十	五十		刀尿
生	U	儿	Л	/	Л	L	_		生

フィ

関する契約に関連する交換公文)(日本国とフィリピン共和国との間の日本国産米の売買に

(フィリピン側書簡)

割之

れています。

契約には、なかんずく次の事項が定めらする光栄を有します。契約には、なかんずく次の事項が定めらする光栄を有します。契約には、なかんずく次の事項が定めらする光栄を有します。契約」(以下「契約」という。)に言及本国産米の売買に関する契約」(以下「契約」という。)に言及いてフィリピン共和国米・とうもろとし庁と日本国農林省食糧いてフィリピン共和国米・とうもろとし庁と日本国農林省食糧がフィリピンの食糧需給事情を緩和するため日本の協力を要府がフィリピンの食糧需給事情を緩和するため日本の協力を要府がフィリピンの食糧需給事情を緩和するため日本の協力を要用がフィリピンの食糧需給事情を緩和するため日本の協力を要用がフィリピン共和国政事情を表して啓上いたします。本官は、フィリピン共和国政事

- トリック・トンを、延払いによつて、売り渡す。 庁に対し、千九百六十八年産日本国産水稲うるち精米一万メ七十一年十月末までに、フィリピン共和国米・とうもろとし 日本国農林省食糧庁は、十五日間の猶予期間付きで千九百
- による。 しょう 渡しは、日本国の港における本船積込み渡し その米穀の引渡しは、日本国の港における本船積込み渡し

トンにつき、四万九千三百二十円とする。()その米穀の価格は、本船積込み渡しにより、一メトリック・

フ

ィリピンとの日本国産米の売買契約に関連する取極

(Philippine Note)

Tokyo, November 10, 1971.

Excellency,

I have the honour to refer to the "Contract for Sale and Purchase of Japanese Rice between the Republic of the Philippines and Japan" concluded between the Rice and Corn Administration of the Republic of the Philippines and the Food Agency, Ministry of Agriculture and Forestry of Japan on September 29, 1971, in Tokyo (hereinafter referred to as "the Contract") at the request of my Government for Japanese cooperation in meeting the food requirements in the Republic of the Philippines. The Contract provides, inter alia, for the following:

- (a) The Food Agency, Ministry of Agriculture and Forestry of Japan shall supply on a deferred payment basis to the Rice and Corn Administration of the Republic of the Philippines by the end of October, 1971, with fifteen days allowance, a total of ten thousand (10,000) metric tons of milled rice processed from Japanese non-glutinous brown rice cropped in 1968;
- (b) The said rice shall be delivered on the basis of F.O.B. stowed at Japanese ports;
- (c) The price of the said rice shall be forty-nine thousand three hundred and twenty (49,320) yen per metric ton on the basis of F.O.B. stowed;

- (**d**) ればならない。 その米穀は、 フ 1 IJ ピン共和国の国内消費に使用され なけ
- (e) 延払の条件及び手続は、 次のとおりとする。
- (i) 月三十一日までの据置 年賦によつて行なり。 元本の支払は、この契約の署名の |期間の後十年の 日 から千九百七十六 期間にわたり、 年 均
- (ii) 据置期間 か 利子 つ、その利子は、 0 一の後十年の期間においては年三パ 率 は、 据置 期間 毎年支払り。 K おいては年二パ 1 1 . セ 乜 ント、 ントとし
- (f) つ、日本円で支払われる。 て日本国食糧庁に支払われるものは、 前記の勘定及び契約の実施から生ずるその他の債務であ 日本円で表示され、 か

解を本国政府に代わつて確認します。 している旨を閣下に通報するとともに、 本官 は、 フ ィリピン共和国政府が契約の締結にきわめて満足 契約に関連する次の了

解関同 事す契 項る約 了记

1 このため必要な措置をとる。 囲内で、 両政府は、 契約の円滑な及び適時の それぞれの国において施行されている法令の範 実施を容易にするものとし、

2 米の供給を規律すべきであることを認める。 を与えることを避けるという原則が、 両政府は、 生産及び国際通商貿易の通常の形態に有害な 契約による日本国 したがつて、 産 影

措る貿国生 置た易際産 めを通及 の守商び

- (b) The said rice shall be bound Republic of the Philippines; for the domestic consumption of o t be used
- The terms and conditions of the payment shall be as follows: deferred

(e)

- (i) The payment of the principal shall signing of the grace period from the date of over a period of ten years after be made in equal annual instalments 1976; this Contract to August
- (ii) The rate of interest shall be two such interest shall be paid annually; years after the grace period, and per annum during the period of ten grace period and three per cent (3%) per cent (2%) per annum during the
- The above accounts and such other liabili-Agency of Japan shall be quoted and paid the Contract and are paid to the Food ties as may arise from the execution of in Japanese yen.

f

ment the following understanding relating to Government of the Republic of the Philippines the Contract: Contract and to confirm on behalf of my Governis highly satisfied with the conclusion of the I wish to inform Your Excellency that the

with normal patterns of production and principle to avoid harmful interference 2. The two Governments recognize that the necessary measures to this end countries, facilitate smooth and timely and regulations in force in their respective international commercial trade should implementation of the Contract and take 1. The two Governments will, within laws

3 あるいかなる問題についても相互に協議する。 両政府は、この了解から又はそれと関連して生ずることが

るためのすべての妥当な措置をとる。

つつ、前記の日本国産米の購入との関連でこの原則を遵守す フィリピン共和国政府は、日本国政府と必要な協議を行ない

貴国政府に代わつて確認されれば幸いであります。 本官は、閣下が前記のことが日本国政府の了解であることを

つて敬意を表します。 本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

千九百七十一年十一月十日に東京で

臨時代理大使 ホセ・M・エヴァンヘリスタ

日本国外務大臣 福田赳夫閣下

> the Contract. The Government of the Republic of the Philippines will, therefore, connection with the purchase of the said the observance of the said principle in Japan, take all appropriate measures for in due consultation with the Government of govern the supply of Japanese rice under

each other on any problems that may arise 3. The two Governments will consult with Japanese rice.

out of this understanding or in connection therewith.

Government, that this is also the understanding of the Government of Japan. I avail myself of this opportunity to renew

would confirm, on behalf of Your Excellency's

I should be grateful if Your Excellency

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest

(Signed) José M. Evangelista

Chargé d'Affaires ad interim

His Excellency

Mr. Takeo Fukuda, Minister for Foreign Affairs oi Japan.

フィリピンとの日本国産米の売買契約に関連する取極

(Japanese Note)

Tokyo, November 10, 1971.

(日本側書簡)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、本日付けの貴官の

9 ィリピン側書簡

かつて敬意を表します。 の了解でもあることを確認する光栄を有します。 本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて貴官に向 本大臣は、日本国政府に代わつて、前記のことが日本国政府

千九百七十一年十一月十日に東京で

外務大臣 福田赳夫

日本国駐在フィリピン共和国

臨時代理大使 ホセ・M・エヴァンヘリスタ閣下

Sir,

of your Note of today's date, which reads as follows: I have the honour to acknowledge the receipt

(Philippine Note)"

understanding of the Government of Japan. I have the honour to confirm on behalf of my Government that the foregoing is also the

o t you the assurance of my high consideration. I avail myself of this opportunity to renew

(Signed) Takeo Fukuda

Mr. José M. Evangelista, Chargé d'Affaires ad interim of the Republic of the Philippines

ぞれの国内法令の範囲内で、 約の成立に伴い、 (参考) この取極は、 わが方食糧庁とフィリピン側米・とうもろこし庁との間における日本国産米の売買契 外交レヴェルにおいても重ねて契約履行の保証を取り付けるため、両国政府がそれ この契約の円滑かつ適時の実施を確保すべく必要な措置をとることを約

したものである。

Minister for Foreign Affairs